



パシフィックシステム株式会社

パシフィックシステム株式会社

パシフィックシステム株式会社 2024年度第3四半期決算説明資料

2025年2月12日



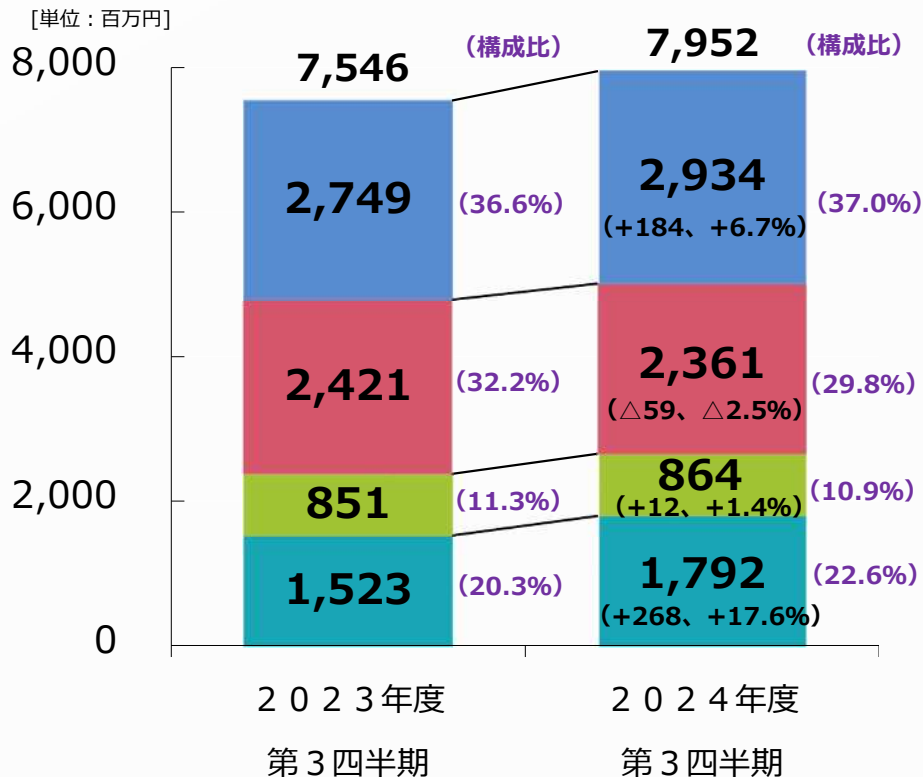
Pacific Systems
パシフィックシステム株式会社

2024年度第3四半期 決算概況

決算年度 (単位：百万円)	2023年度 (第3四半期) (A)	2024年度 (第3四半期) (B)	前期差異 (B-A)	増減率
売上高	7,510	7,934	424	5.7%
売上総利益 (利益率)	2,020 (26.9%)	2,184 (27.5%)	163	8.1%
販売管理費	1,482	1,506	24	1.6%
営業利益 (利益率)	537 (7.2%)	677 (8.5%)	139	26.0%
経常利益 (利益率)	546 (7.3%)	695 (8.8%)	148	27.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (利益率)	361 (4.8%)	466 (5.9%)	105	29.1%

[売上高]
機器等販売、ソフトウェア
開発、システム運用・管理
等のセグメントで増加

[損益]
売上高の増加に伴い、各
利益が増加。

連結 事業4区分別売上高の前期比


※セグメント間の調整額（前期：△36百万円/△0.5%、今期：△17百万円/△0.2%）は除く

システム運用・管理等

システム運用支援において受注単価並びに支援人員の増加、またデータセンター業務並びに保守サービスにおいて作業が増加したことにより増収

システム販売

生コン制御盤（PAT-ONE）等で売上の増加があったものの、前年同期で進行していた医療事業や公共事業の大型プロジェクトが終了した反動で減収

ソフトウェア開発

ERPシステムの導入や基幹業務システムの受託開発により増収

機器等販売

パソコンやライセンス等の更新需要の高まり、並びに文教市場向けの教育機器の販売が前期に続き好調を維持したため増収

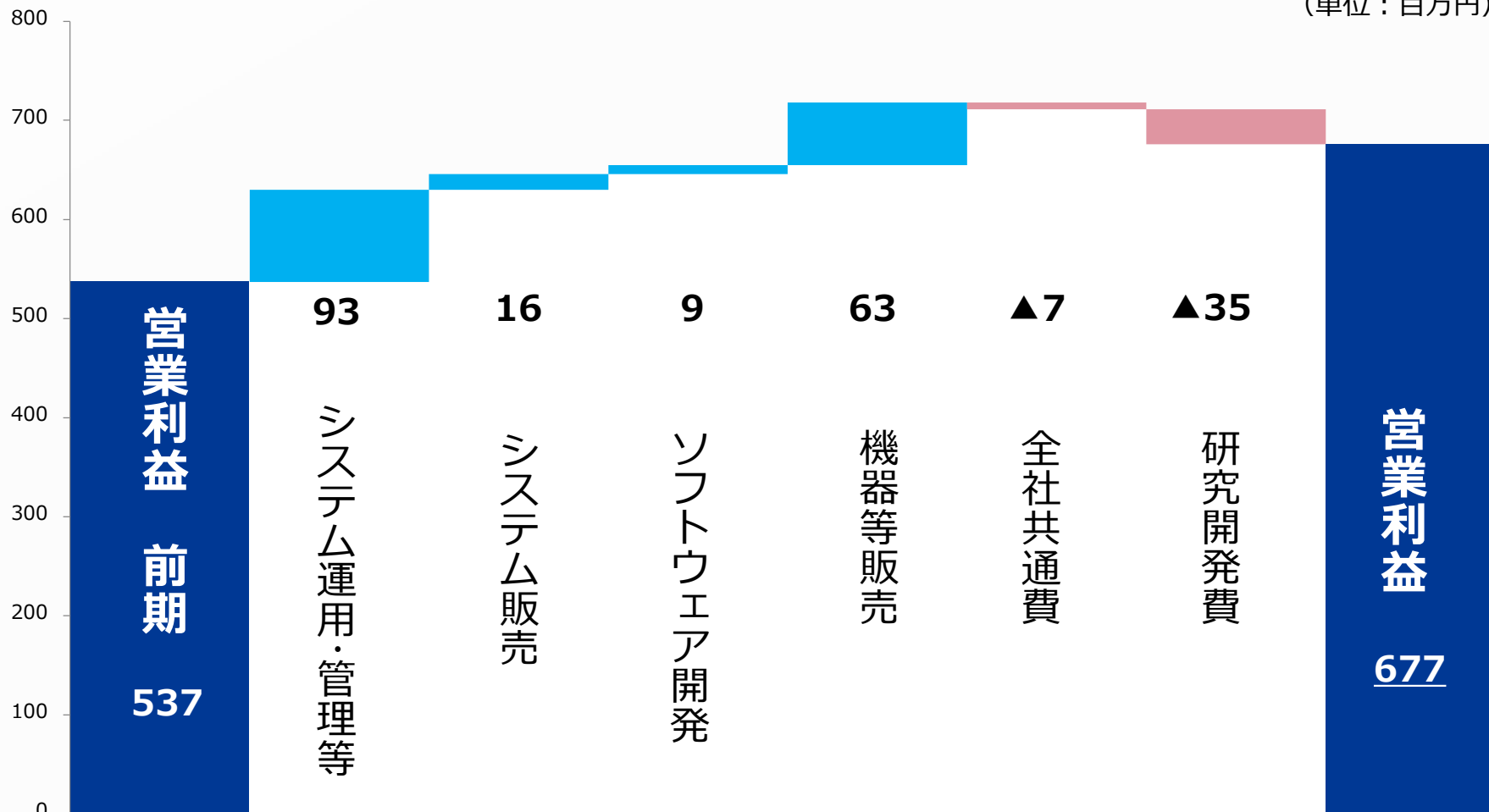
事業区分別のセグメント利益

(単位：百万円)

区 分	2023年度 第3四半期 セグメント利益 (A)	2024年度 第3四半期 セグメント利益 (B)	前期比 (B - A)	増減率
システム運用・管理等	829	923	93	11.3%
システム販売	343	359	16	4.7%
ソフトウェア開発	191	200	9	5.1%
機器等販売	128	191	63	49.5%
全社共通費 (販売費・一般管理費)	△954	△997	△42	4.5%
合 計	537	677	139	26.0%

営業利益分析(前年同期比)

(単位：百万円)

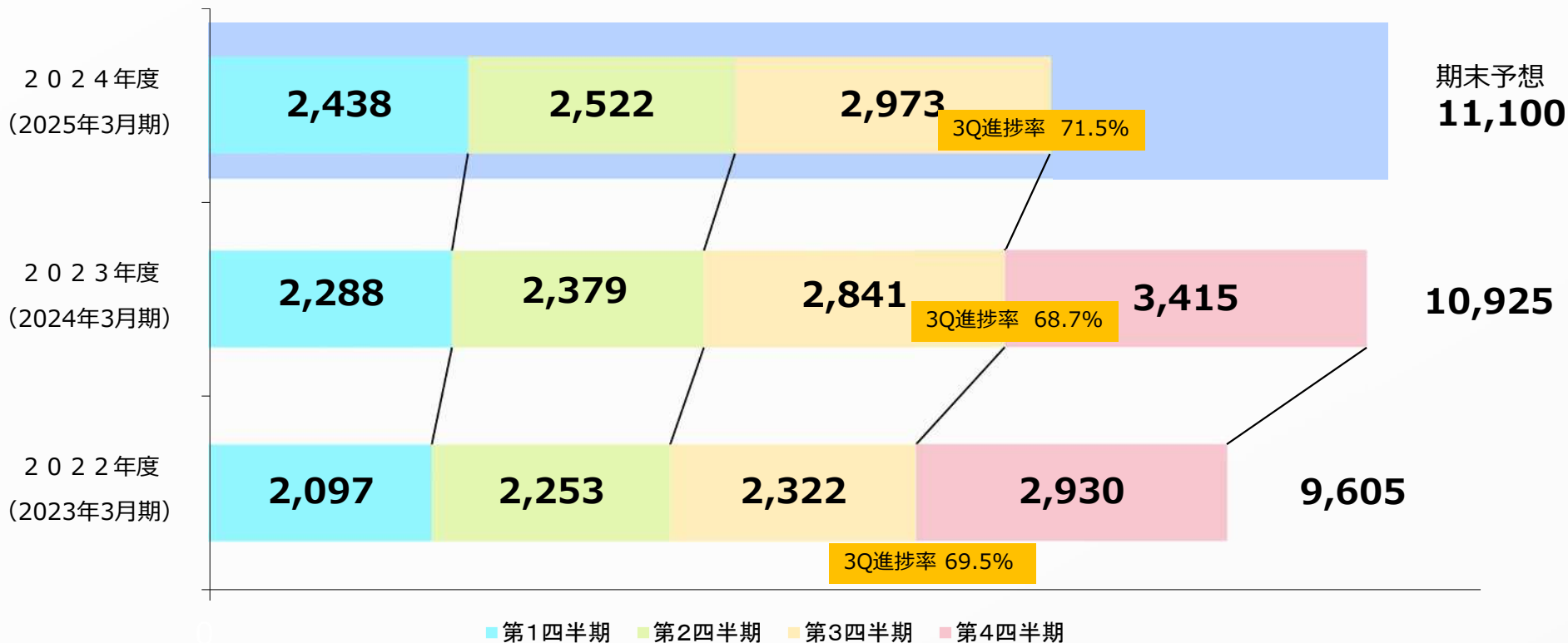


通期業績予想修正

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する当期 純利益(百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想値 (A)	10,448	674	686	472	319.34
今回修正予想値 (B)	11,100	763	785	538	363.61
増減額(A-B)	651	88	98	65	
増減率	6.2%	13.2%	14.3%	13.9%	
(ご参考) 前期連結実績 (2024年3月期)	10,925	852	866	580	392.04

連結 四半期ごとの売上高

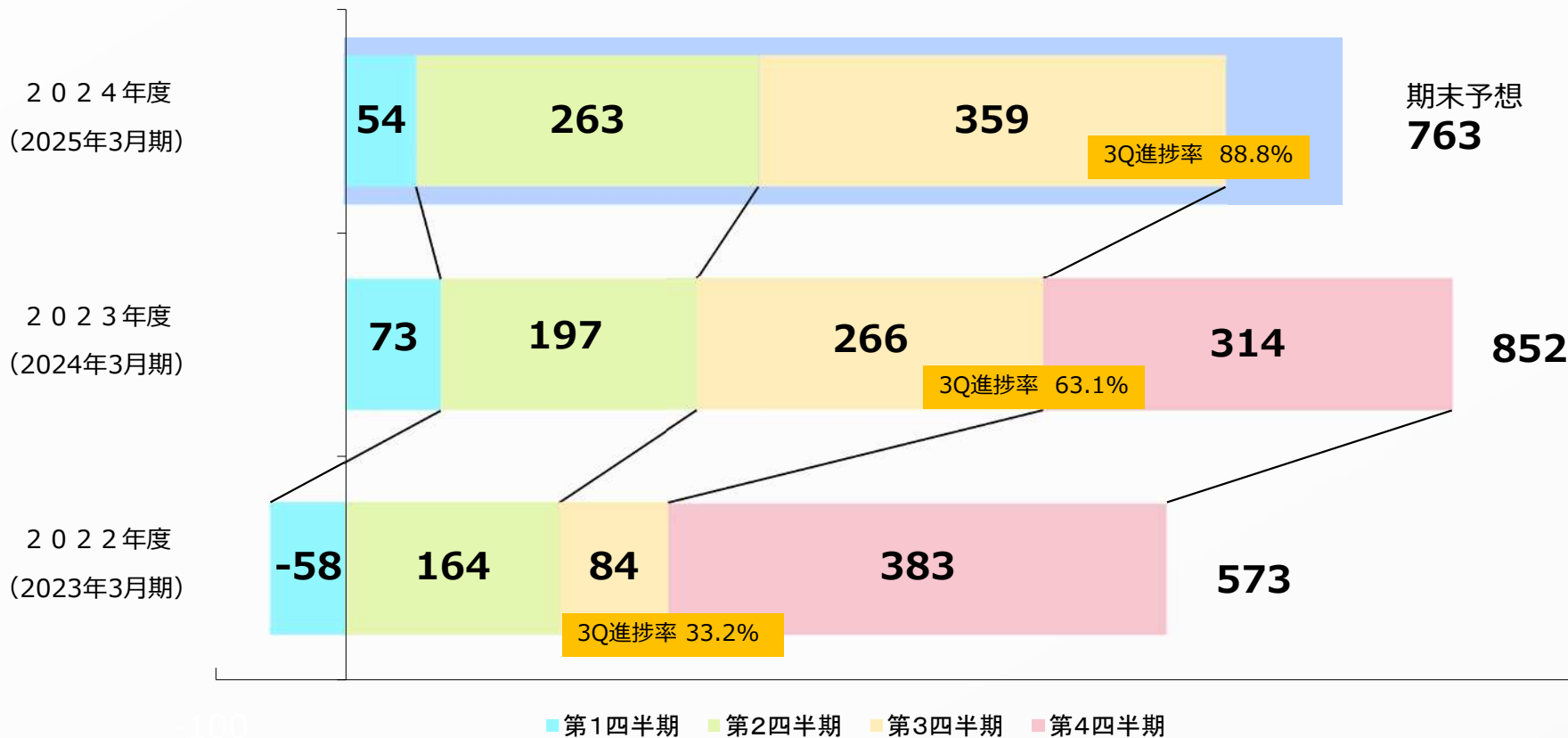
[単位：百万円]



■ 第1四半期 ■ 第2四半期 ■ 第3四半期 ■ 第4四半期

連結 四半期ごとの営業利益

[単位：百万円]

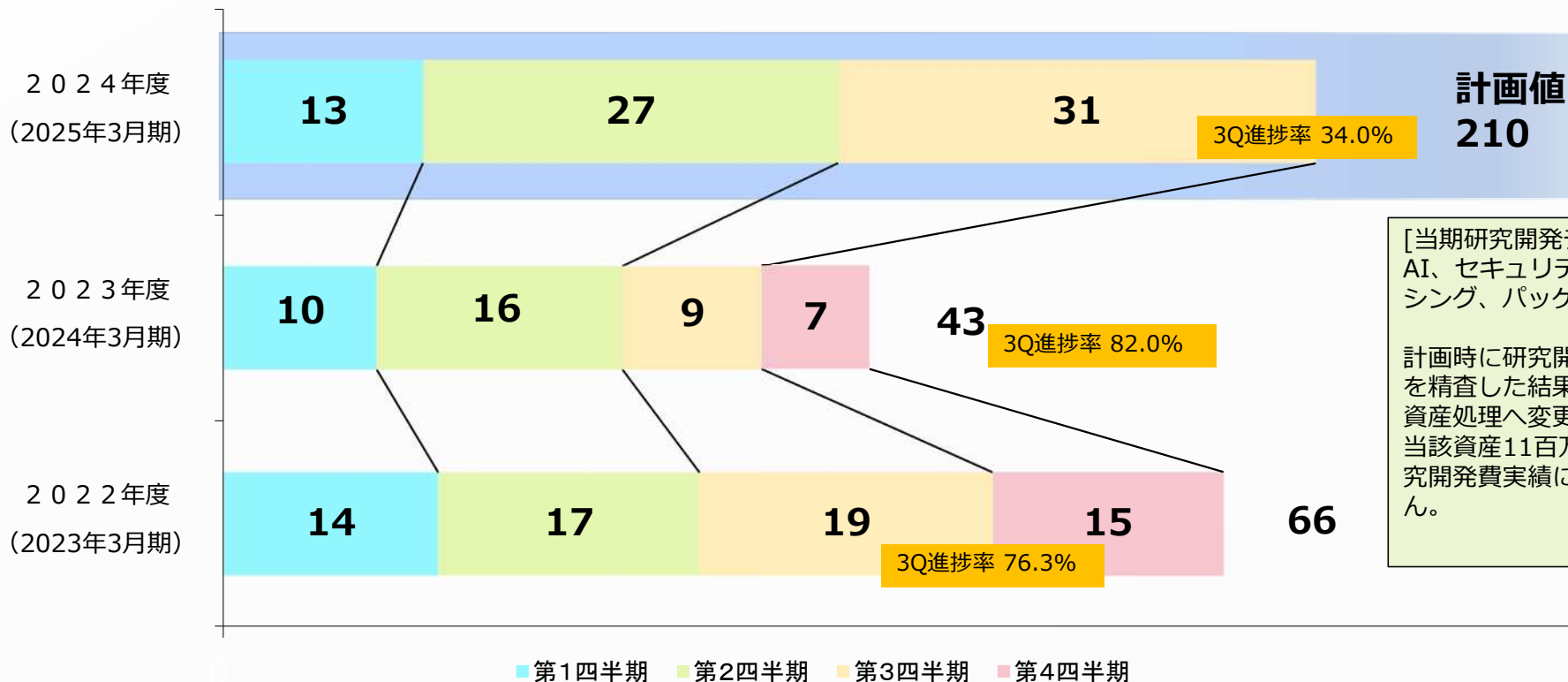


100

■ 第1四半期 ■ 第2四半期 ■ 第3四半期 ■ 第4四半期

連結 四半期ごとの研究開発費

[単位：百万円]



[当期研究開発テーマ]
AI、セキュリティ、画像センシング、パッケージ開発等

計画時に研究開発とした案件を精査した結果、一部を固定資産処理へ変更しております。当該資産11百万円は当期の研究開発費実績に含まれてません。

連結 貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部				負債の部			
	2024年 3月期	2024年 12月期	増減		2024年 3月期	2024年 12月期	増減
流動資産	6,504	6,281	▲222	流動負債	2,779	2,378	▲401
固定資産	2,739	2,918	+178	固定負債	279	371	+92
資産合計	9,244	9,200	▲44	負債合計	3,059	2,749	▲309
				純資産の部			
				純資産合計	6,185	6,450	+266
				負債・ 純資産合計	9,244	9,200	▲44

[流動資産]
受取手形、売掛金及び
契約資産が減少

[固定資産]
建設仮勘定やリース資産
等の有形固定資産が増
加

[流動負債]
未払法人税等、賞与引
当金の減少

[固定負債]
リース債務などの増加

[純資産]
親会社株主に帰属する当
期純利益を計上したこと
による増加

主な指標	2024年3月期	2024年12月期	増減
自己資本比率	66.9%	70.1%	+3.2p
一株当たり純資産	4,180円22銭	4,359円49銭	+179円27銭



トピックス



AIクレーンワイヤー外観点検システムが進化しました！（ホイストクレーン対応）

ワイヤーロープの定期点検を自動化！

Point! ワイヤー始業前点検を精度よく短時間で行い安全性の向上及び事故防止に貢献します。

1 日常の目視点検を自動化

作業開始前の目視点検に代わりカメラを用いてワイヤーロープの全周を連続して検査行うことができます。

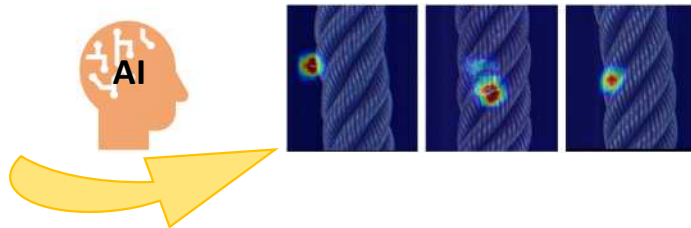
2 既存の天井クレーンへ設置対応

既存天井クレーンのシーブブロックに光学ユニットを後付けできます。クレーン業務に影響なく、ワイヤーロープ全周の検査が可能です。

3 欠陥判定はAI判定

欠陥判定は正常状態のみを学習して異常検知する『アノマリー検出』を実装しています。欠陥画像の収集が難しい場合に有効です。

オプションで欠陥毎に分類検出する『欠陥分類』を実装することも可能です。



※株式会社熊谷組と特許共同出願中

進化版



進化ポイント

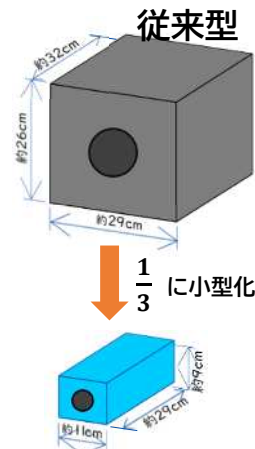


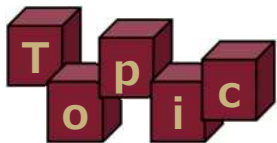
図1 小型撮影ユニット

進化1 撮影ユニットの小型化

従来機より撮影ユニットの小型化を実現
複数台設置可能

進化2 撮影ユニットのワイヤー追従化

撮影ユニットを横移動等に対応可能
ホイストクレーンにも対応可能



NEW

越谷アルファーズとのオフィシャルパートナー契約締結

プロバスケットリーグB1リーグに所属する 越谷アルファーズのオフィシャルパートナーになりました！



越谷アルファーズとは

越谷アルファーズは、1997年に創設された埼玉県越谷市を拠点とするプロバスケットボールチーム。今シーズン国内最高峰のB1リーグに昇格し、「アグレッシブ」をスローガンにチャレンジを続けているチームです。地域貢献活動にも熱心で様々なボランティア活動を行っています。

当社もこのチャレンジ精神と社会貢献精神を共有したいという思いから、今回のパートナー契約の締結に至りました。

当社は、越谷アルファーズのさらなる飛躍を願い、今後とも応援してまいります。





<免責事項>

本開示資料に記載されている将来の計画等に関する内容につきましては、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した予想であり、リスクや不確定要素を含んでいます。

従いまして、記載されている将来の計画数値、施策の実現を当社として確約あるいは保証するものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。